

30年度当初予算は骨格編成



発行所
名寄新聞社
 本社 〒096-0010
 名寄市大通南2丁目
 電話(01654)代表②1717
 ホームページ FAX③2181
 www.nayoro-np.com
 下川支局 〒098-1205
 下川町西町58番地
 電話(01655)④3545
 FAX④3545
 美深支局 〒098-2233
 美深町東3条南6丁目
 電話(01656)⑧7676
 FAX⑧7677

ヘアサロン
サクラダ
 ナヨロ西4北2番⑤5184

名寄市議会 一般質問 多くの課題解決に向けて 加藤市長が3期目へ意欲語る

【名寄】第4回名寄市議会定例会は、18日午後から3議員が一般質問を行った。大石健二議員(新緑風会)と東千春議員(市政クラブ)は、来年4月の市長選挙に出馬の意向を示した加藤剛士市長の3期目に向けた姿勢や考えをたずねた。加藤市長は「課題が多いので、もう一回課題に向かって挑戦し、市民とともに名寄市を元気にしたい」と意欲を語った。また、市長選挙が実施されるため、平成30年度当初予算は継続事業が中心となる骨格編成となることも説明した。

(中村)

佐久間誠議員(市民連合・凜風会)は、市営住宅の課題解決に向けて、団地の環境整備として立ち木からの落雪対策、緊急車両通り抜けのための屋根付き歩道の一部撤去などを質問。

天野信二建設水道部長は「立ち木などの危険箇所は積雪があることから、来春から調査し、枝払いなどを行うことになっている。屋根付き歩道は車両が通り抜けられることは想定しておらず、一部撤去すると構造上、倒壊する恐れがあるため、改造や撤去は困難」と答え、理解を求めた。

また、大学生への空き室活用では「目的外使用が認められるケースもあるが、本来の入居対象者が阻害されない範囲とするのが基本。入居倍率は平成24年度から28年度までの平均で4・3倍となり、潜在的な待機者が多い。空き家解消に向け早期に修繕し、早期に待機者を解消したい」と述べ、当面はその考えがないことを示した。

5年間の平均で4・3倍となり、潜在的な待機者が多い。空き家解消に向け早期に修繕し、早期に待機者を解消したい」と述べ、当面はその考えがないことを示した。

市道改修の要望や優先順位の考え方では、未舗装道をはじめ、交通量が多い路線、公共施設、近隣市町村、国道に向かう路線を優先して改修していることを説明した。